KDDI TECHNOLOGY

company profile

KDDI Technology

いまも、これからも
創造性豊かなサービスを
ご提供し続けてまいります

平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

私たちKDDIテクノロジーは、「技術で夢を現実に。」という信念のもと、
技術の力を通じて、より良い未来の創造に向けて日々邁進しております。

近年、社会課題が多様化する中で、
私たちは様々な課題解決に積極的に取り組む必要があると
強く感じており、新たなテクノロジーを取り入れ、
お客様のニーズに迅速かつ効率的にお応えする所存です。

私たちが目指すのは、つながり続ける社会の構築です。
そのためには、お客様との密な連携を重視し、
常にお客様の視点に立った価値の提供を心掛けています。
お客様の期待を超え、信頼を築き、共に成長していく関係を大切にしてまいります。
また、社員一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、
共に成長できる環境を整えることにも力を入れています。
「もっと楽しく。もっと面白く。あくなき探求心で。」を合言葉に、全社員がやりがいを感じ、
楽しんで働ける職場を創造し、持続可能な未来を築いていきたいと考えています。
私たちの組織文化は、社員の多様性を重んじ、
自由な発想を大切にすることで、創造性豊かなサービスを生み出します。

今後も未来に向けた新たな挑戦に取り組み、
お客様にとって価値ある存在であり続けることをお約束いたします。
私たちは、技術を通じて社会に貢献し、より良い未来を共に描いてまいります。
引き続き、KDDIテクノロジーへの変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、
心よりお願い申し上げます。
皆様と共に歩む未来に、心から期待しております。

代表取締役社長　溝口 健次郎

PURPOSE

もっと楽しく。
もっと面白く。
あくなき探究心で。

あくなき探究心に突き動かされて、
私たちは今日まで走り続けてきた。

追い求めるのは、ワクワクするような未知のテクノロジー。

新たな価値は、いつだって“夢中”の先にある。

誰にも真似のできないアイデアで、明日をもっと楽しく。

社員一人ひとりの個性を束ねて、明日をもっと面白く。
失敗にさえ心踊らせ、変化を楽しみ、探究心で明日をつくり上げる。

それが私たち、KDDIテクノロジーの挑戦だ。

VISION

技術で夢を現実に。

私たちは、期待を超える感動を呼び起こす製品・サービスを提供し続けます。
生活をより豊かに、より便利にすることを目指し、テクノロジーでさらなる
イノベーションを起こします。

MISSION

人と技術をつなぐこと。

企業や消費者、そして社会の問題解決のために、人と技術をつなぎます。
刻々と変化する社会的課題を解決し、よりよい社会を作ります。

VALUE

KDDIグループで培った高い技術と知見で、新しい価値を創造します。

真のニーズに応える技術者集団として、高い技術力と豊富なノウハウを駆使し、
新しい価値を創造し続けます。KDDIグループで培った高い技術をベースに、
先端テクノロジーの活用をワンストップで提供いたします。

暮らしを支え、明日をつくる KDDIテクノロジーの先端技術

私たちの事業領域は、システム開発だけにとどまりません。近年は、スマートドローンやAIといった最先端の分野にも進出。探求心を原動力にして、明日の社会をつくります。

モバイルアプリケーション／システム開発

開発事例

クラウド環境の活用に徹底した、ポータルサイト

「au Ponta ポータル」開発

「au Ponta ポータル」とは、たまったPontaポイントを確認したり、おトクな特典やキャンペーンの情報をお届けしたりと、ユーザーにPontaポイントを活用いただくためのサイトです。
「au Ponta ポータル」の開発にあたっては、アジャイル開発を採用し、迅速かつ柔軟な体制を構築しました。クラウドネイティブな開発方針のもと、「コンテナ」や「DevOps」などの先鋭的な手法も積極的に盛り込み、ユーザーの大量アクセスにも耐える可用性の高いシステムを実現。また、システム内でテストの自動化・効率化を図っているため、万が一、不具合が起こっても早期の修正が可能です。

Feature 1 アジャイル開発によって、柔軟な開発体制を構築

Feature 2 アクセスが集中しても、パフォーマンスを確保

Feature 3 品質向上のために、テスト駆動型開発を採用

事業概要

auサービスを主軸に、モバイルアプリケーション／システムの開発や要件検討の技術支援を行っています。単純な受託にとどまらず、KDDIと連携して、大規模コンシューマー向けサービスを最上流から業務を遂行。グループ外企業から官公庁まで、事業領域も多彩です。KDDIのインフラ基盤のほか、グループ内で培った技術も積極的に活用しています。iOS／Android／AWSなどのサーバ開発を含めたモバイルソリューション開発も手掛けています。

5G・XR開発

開発事例

16台のカメラを駆使し、次世代の野球観戦

「ベイスターズプライムカメラ」システム構築

近年、テレビでのプロ野球中継は減少しており、ネット配信システムで試合を楽しむ野球ファンも少なくありません。しかし、ネット配信では遅延が発生しやすいほか、会場の臨場感を充分に味わえないという弱点があります。その課題を解決するために開発されたのが「ベイスターズプライムカメラシステム」です。これは、横浜DeNAベイスターズの主催試合をリアルタイムの多視点映像で楽しめるアプリ。16台のカメラを駆使して、特定の選手を追う視点や守備位置全体の俯瞰視点といった、次世代の野球観戦体験を提供します。KDDIテクノロジーでは、負荷分散を考慮した大規模配信システムの構築と、受信クライアントアプリケーションを開発しました。

©YDB

Feature 1 Amazon IVSを活用し、テレビ中継同等の低遅延

Feature 2 16種類のアングルから好きな映像を選択可能

Feature 3 試合開始や見せ場を厳選してプッシュ通知

事業概要

KDDI独自の5G基盤や最新技術を活かした、リアルとバーチャルを融合させるXR案件の開発を多数展開し、撮影から配信環境、アプリケーション開発までワンストップで行うケースもあります。他にも、スマートグラスをかけたARコンテンツ開発などが代表例です。また、競合他社と差をつける要素技術の検証も主業務のひとつです。生まれたばかりの技術を育てながらエンジニアリングを行い、実社会への実装までを牽引します。

スマートドローン

開発事例

ドローン開発の負担を軽減し、通信品質も確保

ドローン専用LTE通信モジュール「Corewing 01」

国内外を問わず、ドローンビジネスの市場規模は、年々驚異的なスピードで成長を続けています。しかし、ドローン開発の技術に乏しい新規事業者にとって、エリア未整備の上空におけるLTE通信品質確保は大変困難であり、市場参入のハードルになっていました。そこで、KDDIテクノロジーは、ドローン専用LTE通信モジュール「Corewing 01」を開発し、ドローンの通信品質向上を図りました。通常、ドローンのモバイル通信モジュール搭載時に個別開発が必要な耐ノイズ設計や電波ログ、運航管理システム連携機能なども標準対応。開発の負担を大幅に軽減することができます。また、KDDIプラットフォームへの接続を容易にするソフトウェア開発キット「SDK」との連動により、対応機体の拡充にも寄与します。

Feature 1 不要ノイズを抑制した筐体で通信品質向上

Feature 2 KDDI上空利用対応の全Bandサポート

Feature 3 KDDIプラットフォームとの連携環境提供

事業概要

KDDIグループは、機体を目視することなく遠隔操縦できる「スマートドローン」事業を進めています。KDDIテクノロジーは事業の立ち上げ当初から参加しており、操縦用アプリや映像伝送システムなどの中心的機能の開発を担っています。また、様々なメーカーのドローン機体を利用しやすくする、ソフトウェア開発キット「SDK」も開発。機体メーカーのドローンと「スマートドローン」の運航管理システムとの接続を簡素化・標準化できます。

デバイス開発

開発事例

KDDIと協創する快適なインターネット環境

auひかり向けホームゲートウェイ「BL1500HM」デバイス開発

auひかり向けホームゲートウェイ「BL1500HM」とは、auひかり電話サービスとの接続機能や、メッシュWi-FiやギガビットイーサネットLANに対応するWi-Fiルーター機能などを備えた宅内機器です。サービスを利用するために必要な初期設定も、KDDIプラットフォームとの連携によりユーザーのお手を煩わせることなく自動で行います。開発にあたっては密接な議論、検証を通し、KDDIの期待する機能仕様、サービス品質への準拠を実現しています。また、宅内の雰囲気に溶けこむデザインやサイズ感を重視しつつ、放熱性能と量産性を両立した筐体設計となっています。運用にあたっては台湾のODMメーカーと協力して、製造管理・輸入・保守までの一連の作業を進めることで、コストパフォーマンスの向上やサプライチェーンの強靭化を図っています。

Feature 1 KDDIの期待する製品品質の実現

Feature 2 デザイン性・放熱性・量産性の両立

Feature 3 部材調達から物流までの流れの一元管理

事業概要

auひかり向けの宅内機器やLTE、LPWA、Wi-Fiに対応した無線通信機器などのデバイスを開発しています。ODMメーカーと連携して、設計から保守までのライフサイクル全体を管理しています。また、KDDI向けの品質評価で培ったノウハウをもとに、レビューや受入評価を行うなど、品質担保の取り組みも実施。部材調達や生産スケジュールの計画策定や管理を適宜行い、毎月数万台にも及ぶ製品の安定供給に努めています。

品質評価

開発事例

製品の品質を可視化し、弱点対策も精査

auスマートフォン・アプリケーションの品質評価

KDDIが展開しているauブランドのスマートフォン評価を継続的に実施しています。ユーザーが安心、安全に製品を利用できるよう、ハード、ソフトの両面から評価を行い、品質とユーザビリティの向上に努めています。
品質評価においては、新規に発売されるスマートフォンだけではなく、現行品のOSのバージョンアップやメンテナンスリリース時などの評価も担当。スマートフォンメーカーのみに頼ることなく、製品ごとの訴求ポイントや、ユーザーが抱いている期待や懸念点なども慎重に吟味します。また、製品の品質を数値で可視化するほか、弱点対策も精査。こうして、KDDIグループの製品の品質評価を進めることが、ひいてはユーザーの笑顔につながります。

Feature 1 長年の経験に基づいた評価設計・評価実行

Feature 2 品質の可視化と弱点対策評価も実施

Feature 3 独自の自動評価ツールを導入

事業概要

KDDIは社会インフラを担う通信事業者として、数千万人に及ぶユーザーの利用を想定した品質評価基準を設けています。KDDIテクノロジーは、KDDI及びグループ企業が取り扱うスマートフォン、ルーター、IoT製品、STB、auアプリなどの品質評価のほぼすべてを担当。高い信頼性・性能・堅牢性を備えた「キャリアグレード品質」の提供に貢献しています。こうした厳重な管理下での品質評価が、KDDI製品・サービスの高いユーザー満足度に繋がっています。

AIソリューション

開発事例

独自の技術で、人の目に近い柔軟な検査

「印字不良検査」アプリケーション

本製品は、銘板、商品ラベル、商品パッケージなどの印刷物に対する印刷不良を自動検出するアプリケーションで、電子機器、衣料、食品、医療現場などを中心にご利用頂いています。検出対象は幅広く、従来の検査技術では、人の目に見えないわずかな差分を過検出してしまっていましたが、本製品では、こうしたわずかな差分を許容し、人の目に映る印字の欠け・切れ・擦れなどは見逃しません。製造現場における省人化だけではなく、作業者の習熟度に依存しない検査が可能です。本製品は、簡単に収集できる良品データを数枚収集し学習させることで高精度の検査が期待できるため、製造現場において、元々発生しづらく収集が困難な不良品データを大量に集める必要がありません。また、消費期限や製造年月日のような数値の可変部分についても柔軟な検査が可能です。

Feature 1 大量の学習データが不要

Feature 2 人間の目に近い柔軟な検査

Feature 3 可変箇所も自動学習

検査出来るさまざまな不良

文字や空白を形で認識し、良品との差分を判定するため、文字以外のさまざまな不良も検出可能。

事業概要

KDDIテクノロジーでは、KDDIグループで培った高い技術力と豊富なノウハウをベースに、クライアントに寄り添い、真のニーズを探求し、クライアントの現場の課題と当社AIソリューションを繋ぐ事で新しい価値を創造し続けています。KDDIテクノロジーのAIソリューションは、様々なAI技術を活用した精度の高いAI認識エンジンにより構築され、現場の省人化や業務効率化、品質の安定化を達成する事でクライアントの課題解決に貢献します。

EMPLOYEE INTRODUCTION

もっと楽しく。もっと面白く。あくなき探求心で。

KDDIテクノロジーが掲げるパーパスは、社員たちで協議を重ねた末に導き出されたものです。
このパーパスは私たちのあるべき姿であり、未来を切り拓くための原動力でもあります。

開発2部/アプリ開発管理

太田 喬也

2020年入社。通販サイトのアプリ開発、社内の受付システム開発を経験する。現在は海外に拠点を置く開発チームのスケジュール管理やタスク管理、ほかの開発チームとの連携といったプロジェクトマネジメント業務に従事。

PURPOSE STORY

チームの力を120%引き出す最高のマネジメントを追求

社会に深く根ざしたモバイルアプリの開発に携わりたくて、KDDIテクノロジーへの入社を決めました。ちょうどキャッシュレス決済の黎明期で、採用担当者に「この世から現金を無くしたい！」と豪語したのを覚えています。
念願叶って、今は決済サービス「au PAY」のプロジェクトに携わっており、海外に拠点を置く開発チームをマネジメントしています。外国人エンジニアたちの高い技術力を活かすも殺すも私の腕次第。責任が重い分、やりがいがあります。コミュニケーションに苦戦する時期もありましたが、現地で顔を合わせてからは両者の距離がグッと縮まりました。英会話を習っているのも、チームのパフォーマンスを120%引き出すため。いつか、日本の開発チームを超えるような成果を上げたいです。

開発5部/デバイス開発管理

伴野 有里

2021年入社。保険会社の営業担当から、IT業界に転身。派遣社員時代を経て、KDDIテクノロジーに入社。現在は、プロダクト開発チームのプロジェクトマネジメント業務に従事。

PURPOSE STORY

プロジェクトを通じてチームの絆がさらに深まる

システムの評価検証やプロダクト開発などを行う開発5部は、短期間で多くのプロジェクトをこなします。全体の3割を女性社員が占めており、各自、勤務制度を利用しながらプライベートと仕事をうまく両立させています。
最も長く携わったプロジェクトは、GPSトラッカーの開発です。位置情報を発信するデバイスで、お子さんや高齢者などの見守り用に使われます。社会になくてはならない技術であることに加え、私の祖父が高齢ということもあり、思い入れもひとしおです。無事に完成を迎えたのは、プロジェクトマネージャーの采配があったから。開発チームが壁に直面するたびに、明るく鼓舞してくれました。製品のローンチを見届けたときは、みんなで渾身のガッツポーズ！ あのときの感動は、今でも鮮明に覚えています。

開発3部/XR開発

寺井 晴香

2022年入社。学生時代はXR技術を研究。その経験を活かすために、KDDIテクノロジーに入社。エンジニアとして5G・XRチームに従事。社内の資格支援制度を利用してIT関連の資格を取得するなど、自身のスキルアップにも打ち込んでいる。

PURPOSE STORY

先進技術に触れる環境が大きな成長につながる

開発3部は、先進的な分野の開発に特化した部署です。私が所属する5G・XRチームでは、現実世界と仮想世界を融合させるXR（クロスリアリティ）技術やライブ配信などに関する技術を広く取り扱っています。
テーマパークへの導入を想定した特殊な音響システムの開発プロジェクトが進んでおり、私はそこで上司や先輩たちのサポート役にまわっています。こうした大きな開発案件に関われるのは、KDDIグループならでは。前例のない試みでもあるので、業務により一層身が入ります。上司や先輩も親切で、こちらの質問にも手をとめて向き合ってくれます。知的好奇心が旺盛な人も多いため、チームのグループチャットが技術論で白熱することも。私も早くその輪に入れるように、しっかりと基礎を固めていきたいです。

開発6部/デバイス開発管理、評価管理

西浪 修平

2015年、SIerでの移動体通信プロトコル評価業務の経験を経たのち、KDDIテクノロジーに中途入社。当時の開発5部に配属されて間もなく、デバイス開発チームにジョインする。現在は、宅内向け通信機器開発・評価のプロジェクトマネジメント業務に従事。

PURPOSE STORY

諦めない姿勢がプロジェクトをゴールに導く

入社した当初は、寡黙でおとなしい人が多い会社だという印象をまず受けました。しかし、デバイス開発チームの情熱に間近で触れてからはイメージが一変。全力でクライアントの要望実現を目指す姿勢に感銘を受けました。各担当者の知識と経験も、製品開発プロジェクトマネージャー並みで、人材の厚さを目の当たりにした思いです。
デバイス開発に一気通貫で携わることは未経験だったため、毎度新鮮な驚きがあると同時に、自分の成長も実感できました。とくに印象深いのは、海外ODMメーカーとの協業です。限られた期間に何度も現地を訪れ、折衝を重ねました。それもこれも製品のクオリティを最大限まで引き出すため。その過程で身に着けたあきらめない姿勢は、今でも大きな武器になっています。

株式会社KDDIテクノロジー

〒135-0061

東京都江東区豊洲5-5-13豊洲アーバンポイント3F

https://kddi-tech.com/